

貸切バスの安全運行に向けた街頭指導を実施

平成28年2月22日 公益社団法人日本バス協会

公益社団法人日本バス協会では2月19日、貸切バスの安全運行に向けた街頭指導を実施しました。この街頭指導は「長野県軽井沢町で発生したスキーツアーバスの転落事故」により15名の尊い人命が失われたことから、貸切バス運行の安全管理に関する「運行指示書の携帯」等を中心に実施しました。

尊い15名の人命を一瞬に奪ったスキーツアーバス運行会社は、国土交通省の立ち入り監査によって「安全管理に関する法令違反」が次々と指摘され、ずさんな運行実態が明らかになりました。当該事業者は日本バス協会に加盟をしていませんでしたが、日本バス協会では「貸切バスの安全・安心輸送は全事業者に適用する問題」とし、非加盟事業者も街頭指導の対象としました。

街頭指導は「浅草周辺観光バス駐車場」とし、「台東区民会館駐車場」「今戸駐車場」「清川駐車場」の3ヵ所で実施しました。冒頭船戸常務理事から「バス運転者の休憩時間を拝借して実施するものであり、丁寧をお願いをしたい」との要請がなされました。指導内容のチェック9項目について坂本調査役から説明がなされ、「シートベルトを締めましょう」のチラシも一緒に配布する事としました。

浅草周辺は「雷門」から「仲見世」「浅草寺」となる観光地です。その関係から訪日外国人の貸切バスや修学旅行の貸切バスが中心でしたが、指導員は定められた項目に従い運転者に声を掛け、全体で35社、53両についてチェックをしました。非会員は10社11両でしたが、貸切バス事業者安全性評価認定取得事業者も3社ありました。

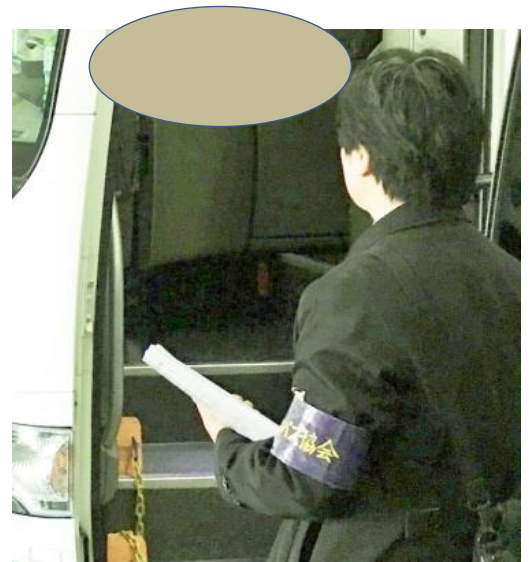
この街頭指導は今後も引き続き「浅草寺周辺」「皇居外苑楠公駐車場」や「東名高速海老名SA」において実施をします。

【街頭指導におけるチェック項目】

1. 「貸切」の車外の表示の有無
2. 「社名」の車外表示の有無
3. 車内に「登録番号の表示」の有無
4. 車内に「運転者氏名の表示」の有無
5. 運行指示書の携帯の有無
6. 運行指示書に主な行程の記載の有無
7. 運行日報の携帯の有無
8. 運行日報の記載の有無
9. シートベルト着用の掲示の有無



調査前の打ち合わせをする指導員



チェック項目に従い質問する指導員

【調査結果】

会員	25社	延べ42両	認定20社	認定無5社
非会員	10社	延べ11両	認定3社	認定無7社
合計	35社	延べ53両	認定23社	認定無12社

以上